



議会だより

No.147

令和7年4月24日



議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。



the most beautiful
villages
in japan

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

「第2回松崎三聖まつり」

松崎

《主な内容》

第1回定例会（3月4日～3月11日）

令和7年度当初予算……………2
令和6年度補正予算……………5
町政を問う 一般質問に6議員……………8



一般会計

予算総額

44億4500万円

時代の流れを的確に捉えるため情報収集・
前例にとらわれない独自の取り組みを進める

令和7年第1回定例会が、3月4日から11日までの6日間で開催されました。町当局からは、条例が15件、令和6年度補正予算8件、令和7年度当初予算10件、人事案件その他17件が提出されました。

令和7年度一般会計予算は、前年度比3,600万円減（0.8%減）の総額44億4,500万円となりました。

主な事業としては、地域防災計画の改定、妊婦健診交通費等支援、小中学校児童生徒の1人1台端末の更新、町営観光施設の改善に向けた支援業務、伏倉橋・入谷橋の補修工事などが計上されました。

斎場整備など大型事業が計画されているが、補助財源や起債など活用して基金残高も注意しながら、町民の皆さまの暮らしを支える事業を実施していく内容となっています。

歳入

繰入金前年度比1750万円増の5億817万円

財政調整基金から5億円繰入

問 ふるさと納税の目標設定はあるのか。

答 企画観光課長 目標設定は定めていないが、今、町職員だけで行っている業務を中間支援業者に入ってもらうには、1億円位の寄附がないといけないので、その額は目指していきたい。

問 町税は全体で見ると数字の動きはあまりないが、内容で変わったものがあるか。

答 窓口税務課長 現年の個人住民税を算定するにあたり、所得は前年比1・9%増としている。滞納繰越分の額は、滞納整理機構により多く徴収され減ってきている。

問 入湯税の値上げを近隣市町で行っているが、どのように考えるか。

答 窓口税務課長 値上げには観光協会などの協力が必要。観光施策を行いたいなどの要望があれば、検討していく。

問 地域おこし協力隊や地方創生人材制度などの財源の特別交付税が減った理由は。財源が少なければ適正な事業ができるか確認が必要ではないか。

答 総務課長 特別交付税は不安定な要素があり、実際、町事業の算定の基礎とはなっているが、全国で大雪などの災害により、配分が変わることもあるので減額した。



©松崎町

問 奨学金の貸付金収入が前年度に比べ増えているがその内訳は。

答 健康福祉課長 償還件数が17名から22名に増加したため。

問 通学費の補助や地域通貨に充てる事例もあるが、過疎対策事業債（ソフト分）の使い道は。

答 総務課長 地域の活性化についての利用も把握しているが、令和6年度の補正予算でも通った老朽化した建物のための高額となる取壊し費用として積み立てていく。

出 歳
防災行政無線機器更新など
同報無線事業費1億177万円

問 旧中川小学校への土木事務所松崎支所の移転が進んでいるが、施設は複合して利用できるものとなるのか。

答 町長 明確ではないが、官公庁で利用する方向性を考えてる。旧中川や三聖苑のエリア一帯を総合的に見て、有事の際の対応を考えていきたい。

問 人材支援業務委託を役場職員に対して3年計画で実施しているが、その成果はどのようなものがあつたか。

答 副町長 職員が気持ちよく働けるような状態でないと町民のためにはならないと思う。外部から見て、こういうところに問題があるという指摘をもらい、徐々に改善の兆しも見えていと思う。

問 富士山駿河湾フェリー

の発着所が変更になり直結する清水港「河岸の市」との連携はどのような考

答 町長 観光誘客効果が高くなることを目指し、河岸の市において伊豆の産物販売を行う案などがある。

問 飛鳥Ⅱの松崎港寄港の予算で船に乗船して松崎の宣伝などは考えていないか。

答 企画観光課長 予算は歓迎式典のみ。郵船クルーズより観光協会職員など乗船させ伊豆地域を宣伝する提案がある。

問 物価高騰対策プレミアム商品券事業以外の対策として、地域通貨についてどう考えるか。

答 企画観光課長 西伊豆町と合同での地域通貨を実施する案もあると思

うが、西伊豆町では、システムの更新時期で費用負担も大きいとのこと。松崎町商工会にも話をしているが、難しいと思う。

問 国勢調査実施の年だが、他市町でも調査員など確保が難しい状況であり、どのような対策を考えているのか。

答 企画観光課長 調査員などは地区の住民の方をお願いをしていく。期間を限定して事務を補助する方も募集する。

問 带状疱疹ワクチンの予防接種は昨年度と変わっているのか。

答 健康福祉課長 令和7年度から定期接種に変わり、65歳から5歳刻みの方が対象者となる。それ以外の方が接種した場合でも、令和7年度に限り、任意接種として助成する。

問 防災情報共有システム備品購入でワイドス

ターとあるが、どのようなものになるのか。

答 総務課長 NTTドコモの衛星携帯電話で可搬型と屋外アンテナを付属したもので、Wi-Fiや、アナログ電話、FAXも接続できるものとなる。

問 河川管理・河川応急対策委託について雲見区で木が河川をせき止め大きな災害があつた。河川へ支障木が流れないよう予防伐採対策はできないか。

答 産業建設課長 一例だが、雲見の太田川だけでもすごい数があり、費用の面もあり難しい。

問 町史編さん室にある文書のデータ化作業はどのようにして実施しているのか。

答 教育委員会事務局長 町史編さんボランティアに月2回ほどお願いして報償費を支払う。データ化した画像などは、子

どもたちのタブレットでも見られるような活用方法も考えている。

問 社会福祉協議会では新規採用職員1名を予定しているが、新たに町の業務の委託を考えているのか。

答 健康福祉課長 現在も民生委員協議会や給食サービスの業務をお願いしているが、予算を伴わないものでお願いできることがないか精査している。

問 職員の少ない中では事業の見直しというのが必要になってくるが、事務事業の見直しの考え方はどのようなものか。

答 町長 事務事業の見直しは非常に大事だと思っている。役場業務のアウトソーシング、各種団体への事務分散、振興公社が持っている施設の維持継続の検討なども出てくる。

(3) 令和7年4月24日 議会だより まつざき 第147号

令和7年度

一般会計当初予算

反対討論

妊婦以外の新たな子育て支援策がなく、町の基幹産業の観光事業についても十分ではない。

また、インフラの整備と同時に適切なメンテナンスが必要であるのに、建設事業費は前年度比58・8%減、修繕費は14%減と大幅な減少となっている。

長寿命化は喫緊の課題だが、その対応が不十分である。

賛成討論

厳しい歳入の中、知恵を絞り、取捨選択して苦しみながら組んでいる。しっかりと執行してもらいたい。

防災、産業振興など少ない予算で対応している。しっかりと計画を立てPDCAを回し、管理してほしい。

国民健康保険特別会計

予算総額9億3557万9千円（前年度比1873万9千円減）となった。

歳入の主なものでは、被保険者の減少に伴い国民健康保険税が減少した。歳出の主なものでは、保険給付費や国民健康保険事業費納付金が減少した。

問 基金の保有額は1億4千万円を平成30年度から維持しているが、繰入れを減らすことや運用は考えていないか。

答 健康福祉課長 保有額は他市町と比べ平均位である。被保険者の減少が見込まれるので、運用などは考えてはいない。

後期高齢者医療特別会計

予算総額1億4598万8千円（前年度比681万4千円増）となった。歳入の主なものでは、

後期高齢者医療保険料が増加した。

歳出については、静岡県後期高齢者医療広域連合への納付金がほとんどを占めている。

介護保険特別会計

予算総額9億5900万円（前年度比2700万円減）となった。

歳入の主なものでは、介護保険料が増加し、国庫支出金が減少した。

歳出の主なものでは、保険給付費が減少し、地域支援事業費が増加した。

問 介護の認定者は増えているが、給付サービスが増えていない理由は、

答 健康福祉課長 団塊の世代の方が高齢化して認定者は増えている。明確な理由ではないが、福祉用具や住宅改修などで対応している場合や、入院などによりサービスを受けられないことも考えられる。

水道事業会計

給水収益は前年度決算見込額の97%と料金改定率44%値上げ分を見込んだ。伏倉配水池整備にかかる費用の一部など一般会計からの補助金を2千万円計上した。

また、事業収益を2億922万7千円、事業費用を1億6004万4千円としたため、税抜きの当年度純利益を4140万3千円とした。

収入予算に建設改良費の財源として、防災・安全交付金442万3千円、企業債1327万1千円、温泉事業会計借入金6380万6千円を計上、支出予算に、伏倉地区送配水管新設工事実施設計業務委託2400万円などを計上した。

問 水質検査委託でPFAS（有機フッ素化合物）の検査を実施するが、人体への影響はどのようなものがあるか。

答 生活環境課長 PFOA・PFOSの項目で検査する。正式に水質基準に加わるのは令和8年度からになるが、国の方でも検査を要請しているので実施する。人体影響は発がん性について危惧されているが、直接的な因果関係については不明である。

温泉事業会計

供給収益を前年度決算見込額の99%を見込み、事業収益を6066万5千円とした。事業費用を4315万円としたため、税抜きの当年度純利益を1599万円とした。収入予算として、加入金千円、他会計貸付金償還金709万9千円を計上、支出予算として、温泉事業経営戦略改定業務委託1180万9千円、水道事業会計貸付金6380万6千円などを計上した。

伊豆まつざき荘会計

宿泊利用人数を前年度当初から1100人減の2万1千人（宿泊利用率43・0％）とし、事業収益は3億7210万円、事業費用は3億7027万2千円としたため、当年度純利益を10万円としたもの。

令和7年度末、未処分利益剰余金は▲2億7199万7千円となる。

問 昨年度コンサルタントを入れ業務改善の指摘事項があり、コストが掛からないものは取り組んだが、今年度でコストの掛かる取り組みはあるか。
答 企画観光課長 コストの掛かることは取り組みにくいところであるが、厨房の機器改良について予算計上している。

問 毎月の宿泊人員などの管理はどうなっているか。経営会議の内容は。
答 企画観光課長 この

予算にはないが、毎月の宿泊人員や収益の目標を立てている。目標に達しない場合は、その都度、対策を協議している。

他に岩地漁業集落排水事業会計・石部農業集落排水事業会計・雲見漁業集落排水事業会計の当初予算も可決されました。



令和6年度 補正予算

一般会計

補正予算（第7号）は、歳入歳出から1億2796万3千円を減額して、補正後の額を47億3670万6千円とした。歳入の主なものは、町

税・普通交付税・森林環境譲与税などを増額し、国県支出金・町債・ふるさと応援寄附金などを減額した。

歳入の主なものは、町道小杉原3号線舗装工事・財政調整基金積立金・保育所委託・庁用車購入費・人事院勧告に基づく給与改定による人件費などを増額し、テレワークスタイル創出事業推進業務委託などを減額した。

問 依田之庄の収入がプラスになった要因は。

答 企画観光課長 振興公社が三聖苑などと連携して運営努力をしている。ボランティアの方も経営改善に貢献されている。

問 買物等支援事業について、当初見込より利用人数が増えているが今後の考え方は。

答 健康福祉課長 福祉タクシーなどの見直しや事業者と調整もして制度の改正を図っていきたい。

問 港湾維持修繕事業の新港ドルフィン設置やしゅんせつの実施はどうなるのか。

答 産業建設課長 県により松崎新港フェリー着岸の際に安定させるドルフィン設置工事は、事業化に至っていない。しゅんせつは予算化され実施される。

問 「ふれあいとーふや」などほかの町有施設のス마트ロックによる管理はできないか。

答 企画観光課長 教育委員会施設の利用状況を見て検討していきたい。

伊豆まつざき荘会計

事業収益を宿泊料や食事料などの見込減により6797万6千円減額、事業費用を5082万7千円の減額としたため、当年度純利益を1715万円減額して364万2千円とした。

問 料理でキンメの煮付けのプランがありとても良かったが、どのような広報をしたか。

答 企画観光課長 60周年記念でキンメダイ・伊勢エビプランを実施した。サイトでの周知や友の会へのダイレクトメールを実施した。

問 サイトの口コミで料理や接客が良いと高評価である。借入金の返済が始まるとボーナスはどうなっていくのか。

答 町長 悪い時には昇給もなく、ほとんどボーナスもないときもあった。業績がアップすればそれに応じてボーナスを支給し、職員のやる気を保っていききたい。

他に国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・水道事業会計・温泉事業会計の補正予算も可決されました。

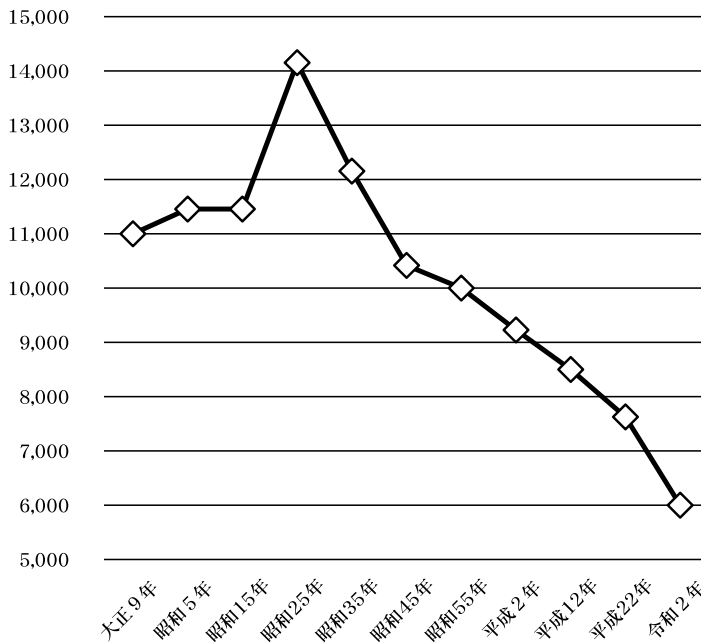
第 1 回定例会の概要・賛否状況一覧

議会名	議案番号	件 名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	田中道源	小林克己	高柳孝博	藤井要	議決状況
第 1 回定例会	議案第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度松崎町一般会計補正予算（第 6 号）） 「物価高の影響を受ける低所得世帯への支援」の給付金事業を早急に実施するため補正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 2 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 「懲役」「禁固」が「拘禁刑」に一本化されるため、関係する条例を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 3 号	松崎町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告による職員の期末勤勉手当の支給月数の引き上げにあわせて、特別職の特別給（期末手当）の支給月数を0.1月引き上げるもの。	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
	議案第 4 号	松崎町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について 令和 6 年人事院勧告において、国家公務員（一般職）の給与等の改正について勧告されたことから、町職員の給与などについても同様に改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 5 号	松崎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 「仕事と介護の両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備」などをするため改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 6 号	松崎町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律改正に伴い改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 7 号	松崎町監査委員に関する条例の一部を改正する条例について 審査結果に基づく監査委員の意見の通知日を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 8 号	松崎町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について 政令改正に伴い、損害補償に係る補償基礎額および補償基礎額の加算額の改定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 9 号	松崎町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について 政令改正に伴い、退職報償金の区分に「勤続35年以上」を追加するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第10号	松崎町税条例の一部を改正する条例について 公益信託に関する法律の改正に伴い、町民税の寄附金税額控除の改正などをするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第11号	松崎町使用料徴収条例の一部を改正する条例について 社会体育施設において、電気代の高騰や施設老朽化への対応、スマートロックシステムの導入により維持管理費が増えていることに伴い、使用料を見直し改定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第12号	松崎町勤労者体育センターの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について 勤労者体育館において、電気代の高騰や施設老朽化への対応、スマートロックシステムの導入により維持管理費が増えていることに伴い、使用料を見直し改定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第13号	松崎町総合運動場条例の一部を改正する条例について 施設の使用申請の期日について実際の運用に合わせ一部改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第14号	松崎町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について 災害弔慰金等の支給に関する事項を調査審議する審査委員会を設置するため改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第15号	松崎町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例を廃止する条例の制定について 半島税制適用地区からは除外されることとなったため条例を廃止するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第16号	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について 「西豆衛生プラント組合」から「西豆広域行政組合」に変更することに伴い、総合事務組合規約の一部を変更するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第17号	令和 6 年度松崎町一般会計補正予算（第 7 号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第18号	令和 6 年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について 歳入歳出から1313万 2 千円を減額して、補正後の額を 9 億4180万 9 千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議会名	議案番号	件 名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	田中道源	小林克己	高柳孝博	藤井要	議決状況
第1回定例会	議案第19号	令和6年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出に109万7千円を追加し、補正後の額を1億4526万7千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第20号	令和6年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出から2711万9千円を減額して、補正後の額を10億4584万3千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第21号	令和6年度松崎町水道事業会計補正予算（第2号）について 収益的支出を558万2千円増額し、当年度純利益は558万2千円減額し、1220万9千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第22号	令和6年度松崎町温泉事業会計補正予算（第1号）について 収益的支出を94万8千円増額し、当年度純利益は94万8千円減額し、962万7千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第23号	令和6年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第24号	令和7年度松崎町一般会計予算について	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
	議案第25号	令和7年度松崎町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第26号	令和7年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第27号	令和7年度松崎町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第28号	令和7年度松崎町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第29号	令和7年度松崎町温泉事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第30号	令和7年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第31号	令和7年度松崎町岩地漁業集落排水事業会計予算について 収益的収入及び支出予算において、事業収益を1412万1千円、事業費用を1422万1千円とし、資本的収入及び支出予算において、収入予算として千円、支出予算として30万円計上するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第32号	令和7年度松崎町石部農業集落排水事業会計予算について 収益的収入及び支出予算において、事業収益を1147万4千円、事業費用を1157万4千円とし、資本的収入及び支出予算において、収入予算として千円、支出予算として30万円計上するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第33号	令和7年度松崎町雲見漁業集落排水事業会計予算について 収益的収入及び支出予算において、事業収益を3892万8千円、事業費用を3902万8千円とし、資本的収入及び支出予算において、収入予算として千円、支出予算として188万4千円計上するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第34号	令和6年度松崎町学校給食共同調理場建設工事請負契約の変更について 工事完成に伴う増額変更契約（契約先：河津建設㈱、契約金額263万8千900円増の3億2823万5千600円）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第35号	指定金融機関の指定について R7.7.1以降も2年間「三島信用金庫」を指定金融機関に指定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第36号	農業委員会委員の任命について（石川 一路 氏：江奈1区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第37号	農業委員会委員の任命について（小林 琢磨 氏：伏倉区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	農業委員会委員の任命について（長嶋 政彦 氏：岩地区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	農業委員会委員の任命について（鈴木 茂孝 氏：山口区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	農業委員会委員の任命について（土屋 人 氏：那賀区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	農業委員会委員の任命について（白井 昌作 氏：東区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	農業委員会委員の任命について（山本 文昭 氏：池代区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第43号	農業委員会委員の任命について（吉田 猛 氏：吉田区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第44号	農業委員会委員の任命について（伴 高志 氏：南郷区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第45号	農業委員会委員の任命について（渡邊 源二 氏：野田区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第46号	農業委員会委員の任命について（渡邊 恒春 氏：中村区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	農業委員会委員の任命について（吉長 武志 氏：門野区）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	選挙第1号	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について 任期満了に伴う選挙（任期 R7.3.23～R11.3.22） 【選挙管理委員】高橋和宏、山崎富幸、斉藤昌幸、齋藤一雄 【選挙管理委員補充員】松本昌文、鈴木繁樹、高木和彦、山本 望	○	○	○	○	○	○	○	指名推選可決
	発議第1号	松崎町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律改正に伴い改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	意見書案第1号	公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書の提出について 教員の長時間勤務に歯止めがかからず、時間外勤務の削減や業務量の軽減など働き方改革のさらなる推進が必要であり、意見書を国関係機関へ提出するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

賛成：○ 反対：× 欠席：－

松崎町の人口の推移



藤井 かなめ
要議員



動画

答

策定は今後検討していく

問

復興に向けた対応計画を

問 南海トラフ地震などの大災害の発生後、迅速な復興に向けたまちづくりを行い、地域の人が住み続け、生活できる場所の確保が必要と考えるが、町の復興計画はあるのか。

答 (町長)

大規模地震災害発生後の災害応急対策にめどが立った後、関係機関と連携して策定することになっている。地域防災計画では復興体制などの検討にとどまっているので、人口減少も含めて、この地域をどのような持続可能な町にするかを考えていく。

問 妊産婦を守る対策は

答 地域医療の連携構築

問 下田市の「臼井医院」の出産業務終了を受けて、

松崎町では、より遠方の病院に通わなければならなくなった。妊産婦の方々が安心して出産できる具体的な支援策と、今後の

対策をどのように考えているのか。

答 (町長)

令和7年度予算で、母子手帳交付時に「健康診査交通費等支援金」として5万円を新たに給付することとし、交通費、宿泊費用などに使用していただきたい。また、下田消防と連携し、希望があれば事前登録した上で陣痛時などに緊急搬送してもらおう体制を整えたので、今後も子育て施策の充実を着実に進めるべきと考えている。

問 町長は1年ほど前に、この地域に合った医療体制を構築していくため、

充電している状況だと答弁したが、町の医療方針はできたのか。また、賀茂医師会などとの協議はされているのか。

答 (町長)

具体的な医療方針案はできていない。1自治体では難しい中で、オンライン診療や巡回診療など

について、また、既存の病院・診療所の存続について関係機関と話をしている状況である。

問 太陽光発電計画は

答 計画は進んでいない

問 太陽光を利用し、町の公共施設の電力を賄うモデル事業計画を進めていると、町長隣席のもと株式会社プロメテックスより説明会が行われたが、町はどのような方針のもとで実施したのか。

答 (町長)

地方の自治体としてのSDGsが進んでいない現状を憂いて、企業や議員の皆さんと共に学ぶための方法として説明会を開催した。これからも先進的な事業を行っている企業に声を掛け、将来の予測困難な状況に残さないと考えている。

問

不登校児童生徒の支援は

答

都度最適と思われる対応を



田中道源 議員



動画

問 不登校児童生徒の現状と、課題・支援の取り組みは。

答 (教育長)

まずは担任が面談し、問題を把握。状況に応じスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが関与し、対応している。

問 安心して過ごせる居場所づくりは。

答 (教育長)

特別登校用の部屋を学

校内に設置し、一定の成果をあげている。

問 「しずおかバーチャルスクール」を周知し、参加を促す考えはあるか。

答 (教育長)

参加を促す意識を持っており周知も実践しているが、関心が高いとは言えない状況。新年度から本格的に制度が始まり、事例が上がってくると予想している。事例を交えて紹介していきたい。

問 環境譲与税使途は

答 間伐など森林整備

問 今年度で県の事業である森の力再生事業は終了となる。次期の継続を要望する考えはあるか。

答 (町長)

1市町の単独要望ではなく、広く県民の意見を伺ったうえで県市長会、町長会、議長会などで意思統一して要望していくことが望ましいと考える。

問 西伊豆町と比較して森林整備補助の対象に違いがあると事業者から指摘があるが。

答 (産業建設課長)

要綱の違いはあるが、内容は同じものと認識している。違いがあるという話は聞いていない。

問 要綱を変更する考えはあるか。

答 (産業建設課長)

事業者から話を聞いて調査していきたい。

問 森林整備の一環としてJクレジットの制度を利用する考えはあるか。

答 (町長)

制度としては新しいものになる。内容の調査も含め、機会があれば進めていきたい。

問 出初式内容検討は

答 見直す考えはない

問 他の市町と松崎町の式典の内容に違いは。

答 (町長)

服装および機械器具点検、訓練披露、町内パレード、一斉放水などは違いがある。南伊豆町とはほぼ同じ内容である。

問 団員の定年が撤廃され、高齢化が進むことが予想される。式典の意義を失わない範囲で内容を検討していただきたいが。

答 (総務課長)

出初式でしかできないこともあり、消防団と一緒に検討していきたい。



▲森の力再生事業のイメージ

※静岡県森の力再生事業パンフレットより

幼稚園と保育園の今後は

答 保護者のニーズ把握に努める



菜野のよしえ 議員



動画

問 松崎幼稚園では令和7年度の園児数は令和6年度の人数より半減し、令和8年度には10人を切ってしまうことが予想されるといふ現実をどう捉えているか。

答 (教育長)

保護者のニーズを正確に捉え、松崎幼稚園もそれに合わせ変わっていくかなければいけないと強く認識している。

問 出生数が今後増加す

る可能性は低い。

少ない人数で2つの施設を維持するのは困難な状況ではないか。

答 (町長)

松崎幼稚園・聖和保育園には、公立・私立の違い、役割の違いがあるため、園児が少ないことを理由に安易に今の体制を崩すことはできない。少ないがゆえにできることに注力し、園児や保護者へのきめ細やかな対応を心がけている。

問 幼稚園は教育委員会、保育園は健康福祉課という縦割りではなく、町の子育てとしての協議や幼稚園、保育園、保護者の意見を聞く場が必要ではないか。

答 (町長)

一体として協議することとは難しいが、現在健康福祉課と教育委員会事務局とが定期的に情報共有と意見交換を行い、対策検討の材料としている。

問 防災計画で大事なものは

答 生命・財産を守る事

問 能登半島地震を踏まえ、防災計画の見直しが必要なのは何か。

答 (町長)

受援体制の整備やパーティション、ダンボールベッドや快適なトイレの設置、栄養バランスのとれた適温の食事、生活用水の確保など、県の計画を参考にしながら、町に合った計画を策定する。

問 職員が不足する中、公助は見込めない。自助、共助の強化が必要ではないか。

答 (町長)

2月には防災研修会を行い、防災アプリの使い方や、避難所や備蓄品などの概要を説明した。今後も講演や実際に運営・体験できる訓練などを実施し、自主防災会の強化を図っていきたい。

問 自主避難所をどう考えるか。

答 (町長)

多様な避難先が想定される。1・5次避難、2次避難など複合的に考える必要がある。

問 概要版を作る考えは。

答 (総務課長)

1枚で分かりやすい物ができればと思っている。



▲2月に開催された防災研修会の様子

問

新しい医療体制の構築は

答

医療体制方針案はできていない



高橋良延 議員



動画

問

町長が公約で掲げた診療所に代わる新しい医療体制の構築は、何も見えてこないが、就任以来具体的に何を行ったのか。

答

(町長)

現時点で具体的な医療体制方針案はできていない。オンライン診療や巡回診療などは、関係者と話をしているが、相手もあり、目標年次を定めることは難しい。

問

町民の医療に対する

不安解消のため工程表を作り、示すべきでは。

答

(町長)

1自治体で何かできる状況ではないが、持続可能性を担保しながら、将来に向け安心安全を担保することを目指したい。

問

現性は。

答

(町長)

可能性に期待している。

問

今後、道の駅と旧依

田邸をどうするつもりか。

答

(町長)

道の駅は、採算性が難しく、防災やコミュニティを重視した整備・運営に向け、地域と協議したい。旧依田邸は、町の貴重な歴史文化資源として後世に残し、温泉施設も含め、民間への運営委託の可能性も検討したい。

問

水道料金の負担緩和策は

答

これ以上考えていない

問

4月から水道料金は、44%値上げとなるが、負担軽減策は行わないのか。

答

(町長)

一般会計から令和11年度までの5年間、毎年2千万円補助する。補助がなければ60%を超える値上げとなり、これ以上の対策は考えていない。

問

雲見簡易水道や耐震化の遅れる岩科・三浦の水道施設の強化対策は。

答

(町長)

雲見簡易水道は、基本

計画を令和5年度から3年間かけてまとめていく。

岩科・三浦の水道施設は、昭和40から50年代に整備されたままの施設も多く残り、今後、伏倉配水池の更新の状況を見ながら、優先順位をつけ、耐震化を図っていく。

問

飛鳥Ⅱの受入対応は

答

関係団体と協力

問

8月の飛鳥Ⅱ初寄港



▲ 8月2日初寄港予定の大型客船飛鳥Ⅱ
(総トン数5万444トン、乗客数872名、乗組員数約490名)

の準備は万全か。クルー

ズ船の受入・誘致に向けた組織体制を早急に立ち上げ、進めるべきでは。

答

(町長)

観光協会や商工会などに協力を依頼し、令和2年の準備対応を参考に、郵船クルーズの要望を伺い進めたい。今回の受入に向け、協議会を立ち上げる予定。これとは別にクルーズ船の受入・誘致については、広域の協議会に参加し、推進したい。

問 医療の取り組みは

答 タクシーの利便性を向上



高柳 孝博 議員
たかやなぎ たかひろ



動画

問 診療所も近隣と比べて少なく、高齢化とともに、かかりつけ医を近くに持ちにくいのではないかとと思われる。

医療機関への移動時の福祉タクシー・買物支援タクシーの使用状況と、令和7年度の受診時の移動手段をどう考えるか。

答 (健康福祉課長)

日によっては、タクシーの予約が取れないことがあると聞いている。買い物支援事業の行き

問 産業振興について

答 財源とシステム検討

先別は、病院関係が12.6%、買い物9.8%、金融機関が4.7%であった。これを踏まえて、利用者にとってどういった利便性が図られるか検討した中で、令和7年度以降において早い段階で、制度設計を考えて実施していきたい。

文書をデータベース化して業務を効率化！



▲データベース化のイメージ

問 子育ての支援、移住定住も、経済が成り立たなければ継続できない。
①ふるさと納税によって財源のあるところは、そこに多額の支援をして、人口も増えているところもある。支援には財源が必要であるが、ふるさと納税を増やす策は何か。
②DXによる振興策を進めるには、庁内の業務改善をして展開するのがよいと考える。文書管理システムの導入では、どのような点が改善されるか、またデータベース化の進捗をどう評価するか。

答 (企画観光課長)
令和6年度に現地決済型のふるさと納税も導入した。いろいろな商品を生産の方に協力していただきながら増やしていきたい。
答 (町長)
今までの文書管理システムでは、文書分類や文書ファイル名、保存年限などが簿冊を管理するうえで現状の業務と合致しない点が多く見受けられたことから、令和6年度から7年度にかけて文書管理改善業務委託として、令和6年度に文書分類、

標準ファイル名、保存年限や廃棄手順の見直しを行い、令和7年度に既存の文書管理システムへの電子決裁機能を追加し、システム全体の更新を図ることとしている。
既存文書を整理できることや電子決裁機能の導入により、ペーパーレス化や決裁のスピードが向上し、業務の効率化が図られるものとなる。

問 教育の取り組みは

答 ICT支援員を配置

問 学校の端末が更新になるが、端末を使った評価と新たな取り組みは。

答 (教育長)

学校に確認したところ、家庭学習の取り組み向上、授業の効率化、創意工夫する力がついてきたことなどが報告されている。

令和7年度は、地域活性化起業人制度を活用して、ICT支援員を学校に配置する。



旧三浦小近くの問題の防災無線子局

石部地区の防災無線は、役場～牛原山～旧三浦小～石部へと電波が飛んで来ている。これまでの調査で、牛原山から旧三浦小までの間で何らかの電波障害が起きていることがわかっている。



藤井 昭一 議員
ふじ あき いち



動画

問 スマート自治体の推進は

答 まだまだ時間がかかる

問 第6次松崎町総合計画に載っている役場内のデジタル化はいつになったらできるか。役場の職員が大変少ない状況で各種手続きの電子申請ができるようになるれば、仕事の負担が軽減できると思うがどうか。

答 (副町長) なかなかアナログからデジタルへの変革が進まない。できることから少しずつ確実に進めていくことが大事である。

問 役場の働き方改革は

答 必要性を感じる

問 役場では退職や休職する職員が多く、常に職員が少ないという問題がある。少なくなった職員でも仕事がこなせるような働き方の見直しはされているのか。

答 (総務課長) 業務の平準化を推進し、1人の職員に仕事が偏らないようにしている。

だが、なかなかうまくできていない。

問 役場の窓口時間を短縮する自治体が全国的に増えてきている。一方で住民サービスの低下が心配されるが、各種手続きの電子申請ができるようになるれば、住民は24時間365日いつでもオンラインで役場に行かずに手続きができるようになる。

答 (町長) 職員の数が少ない松崎町役場でこそ、電子申請化とセットで窓口時間の短縮をして、職員の仕事量の軽減、残業時間の短縮など働きやすい環境を整えるために検討すべきと考えるがどうか。

答

今でもコンビニで住民票取得などができる状況にある。今後も効率化を推進し、役場の開庁時間の短縮ということも含めて検討していきたい。働き方改革をしていく必要性はあると感じている。

問 石部防災無線の現状は

答 解決へ試行錯誤中

問 石部地区の防災無線が聞こえにくい問題について、現在はどうのような状況なのか。

答

(総務課長) 旧三浦小付近にある子局のアンテナの向きを調整したが改善はなかった。施工業者や総務省東海総合通信局とも協議を重ね、受信するアンテナの精度をより高いものにして試してみることになり準備している。これで改善されるのが期待される。

問 もしそれでも受信状況が改善されない場合は、子局の場所を移動することが考えられるがどうか。

答

(総務課長) その通り。アンテナの精度をあげても改善しない場合は子局の移設を検討しなければならないと考えている。

次の定例会は、6月3日(火)からの予定です。

議会のらごき

1月

- 20日 広報編集委員会
議会基本条例制定特別委員会
賀茂郡町議会議長会議（東伊豆町）
- 29日 広報編集委員会・特別委員会

2月

- 4日 静岡県地方議会議長連絡協議会
第2回政策研修会（静岡市）
- 6日 議会だより146号発行
- 10日 西豆衛生プラント組合議会臨時会
- 14日 議会全員協議会・特別委員会
- 17日 下田地区消防組合議会定例会
下田メディカルセンター議会定例会
- 18日 静岡県町村議会議長会総会（静岡市）
- 19日 南伊豆地域清掃施設組合議会定例会
- 25日 重要問題懇談会
- 26日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 27日 議員会勉強会

3月

- 4日～11日 第1回定例会
- 17日 西豆衛生プラント組合議会定例会
- 25日 議会基本条例制定特別委員会

表紙の写真「第2回松崎三聖まつり」は文化協会写真部より提供。

発行責任者

議長 深澤 守

編集委員長

田中道源

編集委員

藤井昭一
菜野良枝
高橋良延
小林克己
高柳孝博
藤井要



この人に
聞きました④
粕谷賢太郎さん
粕谷桂子さん
ケンスガレージ オーナー

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、宿泊業を営む粕谷さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

北区で「ケンスガレージ」という1日1組限定のガレージハウスを経営しています。伊豆半島は若い頃から好きなので、将来は西伊豆に住みたいと思っていますところ、ちょうどいい物件を

○課題や今後の活動は。

のんびりと田舎暮らしがしたいよねって気持ちで松崎に来ましたが、や

松崎で見つけたのを機に令和3年に移住。富士山や夕陽がとてもきれいに見える素晴らしいところ。一方仕事面ですが、宿のほかアルバイトもしつつ、興味があつた狩猟を先輩移住者に教わり、狩猟免許を取得して仕事の合間に山に入っています。

○町への要望はありますか。

移住してきた人が地元の人と交流できるような場がもっとあると嬉しいです。

（聞き手 編集委員長）

海鳴り

コンパッション（思いやりや慈悲の心）は、日本文化に深く根付いた概念です。仏教の「慈悲」や儒教の「仁」は、人との調和を重んじる日本人の精神性を形作ってきました。例えば、「情けは人のためならず」ということわざは、他者への思いやりが巡り巡って自分にも返ってくることを示しています。また、「おもてなし」や「和を以て貴しとなす」という考え方も、相手を思いやる心から生まれたものです。

日本人は、言葉よりも行動や気遣いで気持ちを伝えることを重視し、日常生活においても他者への配慮を欠かさない。こうした文化は、コンパッションの実践そのものです。

コンパッションタウン松崎の実現には、希薄になってきた思いやりやお互いさまの精神を、町民一人一人が実践していくことが必要だと思います。

（議長）